

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1		定員に対しては適切だが、本来であれば小学部と中・高等部の活動を分けたい
	2	職員の配置数は適切であるか	2	3		適正ではあるが、GHと兼務している職員がいるので改善の余地あり
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5			手すり、多目的トイレが設置されているが階段あり
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1		取り組んだ活動に対しては、振り返りを行い、会議や日々の引継ぎで周知をしているが、GHと兼務している職員が参加できない時あり
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		3	2	第三者委員訪問時は意見をもらい、改善できるところは実施している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			法人研修会や外部への研修に参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1		一部ご利用者様は面談ができていないが、面談であがってきた保護者様からのご意見は適宜他の職員にも伝えている
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			利用者特性が異なる為、事業所独自で実施している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			月案・週案・日案を用いるとともに会議にて話し合っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			月案・週案・日案を用いるとともに会議にて話し合っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	3		月案・週案・日案を用いるとともに会議にて話し合っているが細やかにと言われると…
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか		3	2	集団活動をメインに行っている為、個別療育までは行えていない。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			通常下校時には、全員で行えることが多い。休日は利用者様が早く来園されるため、一同会することは難しく、個々に伝達したり、前日に打合せを行っている。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		5		支援終了後は勤務時間に差がある為、翌日の引継ぎ時に報告、検討を行い、全員に周知できるようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1		毎日利用者様ごとに記録を残しているが、支援計画が反映できていないことが時々ある。
関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			半年に1度の他、明らかに計画の変更が必要と思われる場合は、作り直している。また、要望やご本人様に合わせて、計画を見直している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4	1		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			基本的には管理者または児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5			可能な限り学校公開等は参加し、学校送迎時に下校時間や行事を確認している。また、学校の緊急メールにも登録している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/	医療ケア対象の方はない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			5	保護者様や相談支援事業所が中心で保育所などからは情報提供はない
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		3	2	当法人の生活介護に移行する場合は行っている。他法人の場合は情報を求められたときに情報を提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			5	受けていない
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			5	交流はほとんどない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			5	新型コロナウィルスの影響で不参加
保護者への説明	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			送迎時や連絡帳、電話で情報共有を行っている。また、希望により随時面談の機会を設けている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			5	行えていないのが現状。今後まず職員のペアレント・トレーニング研修を参加していくよう検討している。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			契約時に行っているが、その後の変更点は文章でお知らせしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			面談や連絡帳等を通じて、困っている事や相談事を伺っている。

明 任 等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			5	保護者会の設置はない。法人全体では事業計画説明会(年1回)、新年会の時に保護者様が顔を合わせている。ただし、成人利用者様のご家庭が中心で今年度は実施していない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			苦情を受けた際は、職員間で対応を話し合い、保護者様に報告している。また、必要に応じて、報告書を作成し、全体への周知を行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			法人全体では広報誌を定期的に発行、ブログを月に2回(成人・放課後)更新している。
	35	個人情報に十分注意しているか	5			写真掲載について同意書をもらっている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			契約書等はルビ付きにし、ロッカーには写真や名札を貼っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			5	実績はないが、今後取り組んでいく予定。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2		作成してあるが、全ての非常時には対応できない為、その都度、職員の柔軟な対応が求められることがある。保護者様にはマニュアルの開示は行っていない。
非常 時 等 の 対 応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			年に2回火災想定の避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			毎年法人研修会にて実施。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			事業所内での会議で話し合った上で、学校や他事業所との担当者会議を実施し保護者へのきちんとした説明を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		5		アレルギーや苦手なものは事前に把握し、提供ていないが基本的には医師ではなく保護者とのやりとりのみ。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			事業所ごとに全体で見れる引継ぎシートを活用し、周知している。

* 令和5年度作成

実施者 5名